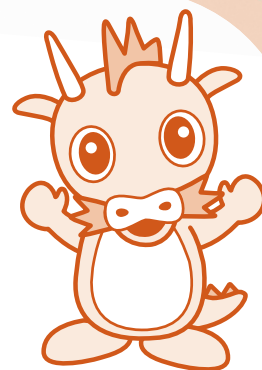


# 鐘の音

～かねのね～



vol.46  
2021.10 発行



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。

## 特集 オンラインで座談会をやってみました

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の影響で、移動したり、人と会ったり話したりすることがリスクになるという事態がもう2年つづいています。そこで急浮上しているのがオンライン会議システムの便利さ。どんなものなの？まずは体験！ということでやってみた、オンライン座談会の模様をお届けします。

一人で家でのんびり絵をかいたりゲームしたりしても「自粛して偉いわね」みたいな感じになるのでありがたいです(笑)

「らしさ」を求めているのかも

「自粛」して、体力がめっちゃくちや落ちた

マスク警察

人ってやっぱり、ほどよく出歩いて、人と話して、ってしないとダメなんだな、っていうことに気づかされました

←次ページに続きます



# COVID-19で生活が 変わった？ 変わらない？



**Cさん** 最初(2020年春ころ)はまじめに「自粛」して、体力がめっちゃくちや落ちた(笑)すごく実感したので散歩を始めて、そのうち、以前からのボランティア活動を再開したら、だんだん体調がよくなってきた。人ってやっぱり、ほどよく歩いて、人と話して、ってしないとダメなんだな、っていうことに気づかされました。新しいお店を見つけて入ってみる、なんてことも今はしづらくてさみしいですね。そのぶん出費は減ってありがたいけど(笑)



**Aさん** 私はもともと乗り物酔いがひどくて、外出が嫌いだったんです。電車ひと駅分でもダメで、だからほとんど生活が変わりません。それに人としやべるのも、かわるのも得意じゃなくて、学生時代から「友達を作って遊びに行きなさい、若いんだから」って言われるのが自分にとっては迫害(笑)家にいると、「あんな活動的になりなさい」って。でも今は、一人で家でのんびり絵をかいたりゲームしたりしても「自粛して偉いわね」みたいな感じになるのでありがたいです(笑)



**Cさん** うちの娘も同じ！もともと電車が好きじゃなくて、今テレワークで、なんていうか生き生きして、けっこういますよ、そういう人(笑)



**Aさん** うれしいです(笑)

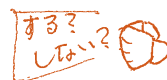


**Bさん** 外食とか人と会うとかは極端に減っていますね。あとは、気持ちの持ちようが変わってます。たとえば、ランニングしてる時、ほかのランナーがマスクしてるかをチェックしてしまう「マスク警察」的な気持ちです。それが

ら、テレビニュースはここ2年くらいほぼ同じ内容

感染者数の増えた減ったと、増えたのは若者が悪いとか飲食業が悪いとかいう「犯人さがし」が続いていて、家族の会話もそれに引きずられてしまうというか…

「マスク警察」のように、相手に求めてしまう「らしさ」どんなものがありますか？



**Cさん** 私は、大正生まれの親の躰で、たとえば腰かけるとき、「足をそろえて座りなさい」「膝が広がっている！」なんて言われて育ってきて嫌だったので、できれば人には言いたくない。外で女の子がスカートなのに足を広げて座ってるのをみたとき「閉じていたほうがいいのにな」と思うことはあったんですけど(笑)人のしていることは、その人なりなこと、なるべく求めないというのが原則です。



**Aさん** 私は歯科衛生士さんに求めてしま(笑)歯医者さんで「なんでこんなに磨きのこしがあるの！こんなのがあるから虫歯になるのよ！」と言われて「そんなに怒んなくてもいいのにな」って思う反面、同じことを男性の歯医者さんが言ったら「あーすいません、怒られちゃった」って軽く受けとめるかもしれない。女性の歯科衛生士さんだと「怖いよ、もっと優しく言ってくれよ」って納得いかないのは、「らしさ」を求めてるのかもしれない。



**Bさん** 家庭では「父親らしさ」「男らしさ」、つまり大黒柱の役、収入を得て家計を支える役割が、子育てが続く限りは求められて

いるんだろうな、という思考と行動を30年ばかりも続けていると、心や頭が固まっちゃう、そんなところがあります。

この後も話は尽きず、昼日中、お酒も飲まずに語り合いは続きました。それぞれ自分の家で、部屋で話せるからこそその発言かもしれないが、残念(笑)とも(全編)紹介できないのが残念(笑)ライブで語れない今、オンラインで語るの「あり」ですね。



**Aさん**…20代後半、性別は女性、性自認も女性です。家でゲームするのが好き。ファーストフードやカラオケボックスが「コロナ後」はどうなってるのかな。



**Bさん**…50代、性別は男性、性自認も男性。アウトドアの活動を海・山・川それぞれに楽しんでいます。新しいことに取り組むのが得意で、同じことを繰り返すのは苦手。



**Cさん**…まだ60代、性別は女性、性自認も女性。人の話を聞くのが好きです。ワクチンの通知は来たけど予約を取るのが難しい！「IDが違います」の先はどうすればいいの？

## 令和3年度オンライン活用講座

### ステイホームから社会につながる 女性のためのオンライン活用講座

この講座のチラシには「※パソコン講座ではありません」と書いてありました。10年ほど前に仕事で必要になりパソコン教室に通っていたのを思いだし、まだその頃はこんなに早くパソコンがいろいろ使われるとは思っていませんでした。

講師はふえみ・ゼミ運営委員の熱田敬子さん。コロナ禍ではオンライン活用が世界的に進んだこと、熱田さんがかなり以前からオンラインを活用してきた経験から、良いところ・悪いところなどを分かりやすく話されました。現状では「オンラインの会議などにZoomで参加したことがある方」は86%にもなりますが、「自分がオンラインで何かした/やりたいと考えている方」はほとんどいないとのこと。熱田さんが長年の活動が続いているのは「したいことがあったから」と話され、「オンライン講座で何が共有できるか?」「オフラインと異なるメリットは何?」など講座開催の意味、自分がホストでやるためには何をすればいいかを話してくださいました。

オンライン会議ツールはZoom以外にもあり、よく聞かれる短所は「音が聞こえにくい」「画面が見づらい」ですが、今では少しずつ改善されているとのこと。また、カメラやマイクの機材、ホストの仕事・役割、イベントの規模、トラブル回避方法など、幅広く話してくださいました。

熱田さんは大学講師でもあるところから、昨年度から授業がオンライン形式になり思いがけない変化が出てきたというお話がありました。ゼンダーの授業で、対面の時はどう見ても「仕方なく来た」感じだった男子学生が、オンラインでは初めから最後まで真剣に参加して、面白い感想を送ってきたそうです。その反面、若い人はSNSが良く使えていると思われるが、LINEやYouTubeなどはかなり使っているが、オンライン授業についていけない学生もいると教えてくださいました。

講座の中で何度も「ぜひホストで講座や会議をやってみてください」と言われていたのが印象に残りました。「私にもできるかも?」と思うほどわかりやすく説得力のあるお話でした。

(武田礼子)

## 令和3年度男女共同参画週間記念事業

### 「ジェンダー平等と地域社会」講演会

今回の講師はジャーナリストで大学教員の、治部れんげさん。講座はオンラインで配信されました。

最初のスライドでは、「自分らしく生きられること」が「住んでいてよかった」という気持ちにつながる、反対に「女・男だから」や「妻・夫だから」のように、「役割に縛られる」と生きづらさを感じることを説明。次に「女性らしく・男性らしく」の何が問題なのかを、具体的な言葉を使って共有しイメージを広げていきます。

例えば、「女性らしく」は、「女の子だから優しく」「女の子は可愛く」「妻だから家事をきちんと」「母だから子供を優先」

「男の子だから泣かない!」「男の子は強く」「夫だからしっかり稼ぐ」「父だから家族を支える」

いずれも、本人の意思と合っている? 押し付けられると苦痛! と続きます。

私の場合は「男の子だから」「夫だから」「父だから」という役割を、「そういうものだ」と疑いを持たず生きてきました。しかしある時から苦しさを感じるようになります。きっかけは仕事上の挫折でした。それまで持っていた価値観、「夫としての稼ぎの大きさ」「自分の価値」という公式に当てはめると「自分には価値がないのでは」と思うようになったのです。自身自身に役割を押し付けてきたことで、生きづらさを抱えてしまったようです。ジェンダーの問題を「○○らしさの押しつけ」といいかえてみると、さまざまな「らしさ」に縛られた経験をお持ちの方が多いのではないのでしょうか。当たり前に思える「慣習」の中にも、今の時代に合わなくなったものがあります。○○らしさとは、そうした既存の「選択肢」の中から生き方を選ぶことを期待、あるいは強要する圧力の象徴のようにも思えます。

さて、みなさんの周りにはどんな「○○らしさ」がありますか? それでどのように「自分らしく」生きていますか?

(むらかみたくじ)



講師の治部れんげさんの著書『男女格差後進国の衝撃』(2020年小学館)



## 相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

### ●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

子ども家庭総合センター 男女共同参画相談室	☎048-711-6650
月～金／10:00～20:00 土・日・祝／10:00～16:00 (年末年始を除く)	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	

### ●男性の悩み電話相談

男性の生き方、仕事、家庭、夫婦、人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-6101
第2・第4火曜日／18:30～20:30(祝日・休日・年末年始を除く)	

### ●女性のDV電話相談

☎048-762-3880
月～金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)

### ●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第2水曜日／13:00～15:30(30分単位)
実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第1・第3火曜日／13:00～15:30(30分単位)

### ●男性のための法律相談(予約制)

弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第4水曜日／13:00～15:30(30分単位)

### ●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第4火曜日／13:30～16:15(45分単位)

## 〈編集後記〉

「鐘の音」の原稿を書かなくてはいけないときにパソコンの画面が映らなくなる事態に！娘に頼んでオンラインショップで購入、届いても私は何もできません。娘が使えるようにしてくれました。ITを使いこなす姿を見てテレワークをしている娘なりに学んで努力しているのだなと感じ感謝です。

(武田礼子)



「お散歩撮影」と称して、休日に写真を撮り歩いています。見沿は空が広いのがいいなあと見上げていると、大きな旅客機が次々とやってきました。南風の日、この近くは航路になっているようです。別の日には鷹がスーッと飛んでいくのを見つけました。普段気がつかないものに出会うと、何だか得した気分になりますね。

(むらかみたくじ)



夏になると御神輿が家の前を通ります。先日、家で過ごしていると、太鼓の音が聞こえてきました。窓の外を見てみると、御神輿が軽トラックで運ばれていて驚きました。ネットで検索すると、このように実施しているところも多いようです。「コロナ禍を理由に、「〇〇できない」と悲観的にならず、工夫する大切さ感じました。

(編集者の声)



JR大宮駅西口 徒歩8分

自転車で越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



さいたま市

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.46 2021年10月1日  
〈編集・発行〉  
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称:パートナーシップさいたま)  
編集員/武田礼子・むらかみたくじ  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階  
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801  
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆ [パートナーシップさいたま](#) [検索](#)  
10・3月発行(年2回)

この広報誌は42,000部作成し、1部当たりの印刷経費は10円です。

